

全労金2024春季生活闘争ニュース・第31号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

《合意速報No. 12》

東海労組が金庫との団体交渉で、基本合意を表明しました！

東海労組は、3月19日15時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求					回 答				
		正職員 (要求範囲：組合員層)	パート職員	特務業務 職員	再雇用嘱託職員 シニアキャリア シニアスタッフ		正職員 (要求範囲：組合員層)	パート職員	特務業務 職員	再雇用嘱託職員 シニアキャリア シニアスタッフ	
基本賃金	改善内容	9,000円	9,000円	年間 125,100円	9,000円	9,000円 (時給60円)	7,300円	7,300円	年間 104,520円	7,300円	7,300円 (時給40円)
	定昇相当分 (実在者平均)	1,775円	1,431円	—	—	—	1,775円	1,431円	—	—	—
	合 計	10,775円	10,431円	年間 125,100円	9,000円	9,000円 (時給60円)	9,075円	8,731円	年間 104,520円	7,300円	7,300円 (時給40円)
最低賃金		時間額1,160円、日額8,510円、 月額178,800円への引き上げ					時間額1,150円、日額8,430円、 月額177,300円への引き上げ				
一時金		4.9	1.9	—	4.9	1.4~ 2.9	4.9	1.9	—	4.9	1.4~ 2.9
昨年実績		4.9	1.9	—	4.9	1.4~ 2.9	4.9	1.9	—	4.9	1.4~ 2.9
安定雇用	無期転換	—	(実現)	(実現)	—	—	(実現)	(実現)	—	—	
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)	(実現)	—	—	(実現)	(実現)	—	—	
	育児時短	小学校卒業までを2025年4月実施に向けた協議の申入				—	拡大をめざし協議する			—	
単組独自要求		—	退職金の改善	—	—	—	応じられない	—	—	—	

《金庫の発言概要》

- 要求書を受け取った以降、労使ともに組合員と金庫の未来を見据えた議論を積み重ねてきた結果、本日を迎えられたことに感謝を申し上げる。
- 不安定な社会情勢や厳しい経営環境の中、金庫で働くすべての職員に、今まで以上に職務に邁進できるよう、検討を重ねてきた。今春闘においても、日本全体の労働者の生活を優先した賃上げ気運が高まる中、労働組合が「こだわり」をもって要求された基本賃金の改定について、将来的に安定した金庫経営を考えた時に、一律7,300円の賃上げが限界であると判断した。しかし、労働組合の3つの観点（※物価上昇、継続的な人財への投資、社会への波及）での主張は経営としても非常に重く受け止めている。

- 交渉では、今までの頑張りだけでなく、未来についても活発に議論することができた。今後も、労使で力を合わせ、難局を乗り越えられるように、交渉での議論経過、及び、社会情勢・金庫の経営環境を踏まえ、労使一体となって、事業計画や各種課題に取り組むことが重要である。
- 第9期中期経営計画が最終年度に入る。計画を完遂するためには、金庫・関連会社の労使がひとつにまとまったうえで推し進めていく必要があり、組合員の頑張りなくして計画の達成はありえない。今後も、良好な労使関係のもとに互いに知恵を出し合い、協力し合いながら、将来に向けた健全な発展に向け、ともに歩みを進めたい。

《加藤闘争委員長の発言概要》

- 2024闘争では、交渉を通じて「人財の確保」「人への投資」は重要であると労使共通の認識に立ち、金庫を取り巻く厳しい環境の中で、東海労金の「未来」について、話し合うことができた。
- すべての要求に対して満額回答とはならなかったものの、賃金・一時金は、職員の努力や頑張り、次年度への期待を込めて回答いただいた。
- 基本合意を判断するにあたって重要なポイントは、次年度以降の未来に向けて労使が同じ方向を向いていけるかどうかであった。闘争委員会や拡大闘争委員会において、これからの東海労金の発展に向けて現状の金庫・職場の課題を披瀝し、それを解消していくためにどう行動していくか話し合い、その内容を金庫経営陣にも直接伝え、労使で認識を合わせることができた。労働組合としても、2024年度の事業計画、第9期中期経営計画の完遂のために、様々な課題の解決に向けて労使一体となって全力で取り組んでいきたい。さらに、東海労金の未来のため、次年度以降の私たちの賃金・労働条件を良くするために、金庫からのメッセージや職員が果たすべき役割を組合員に伝え、行動していきたいと思う。

単組は、①基本賃金について、満額の回答とはならなかったものの、東海労金初めての職員一律の有額回答を得られたこと、②来年以降も世の中の流れが基本賃金の引き上げであれば、組合員が金庫経営に協力し、ベアを出せるような経営環境を作っていきたい、と前向きな発言があったこと、③年間一時金については、満額回答が示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（8単組／3月19日20時20分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）
東北、東北（関連）、中央、東海

以 上